

第2回大井町総合計画審議会 概要

日時：令和7年3月26日（水）

10時00分～11時30分

場所：大井町役場3階 301会議室

委員

出席者：伊藤奈穂子委員、岡田幸二委員、中條政夫委員、柳川重男委員、布施晃延委員、近藤達朗委員、寺下かつ子委員、渡辺泰次委員、◎隅田清一委員、山本孝夫委員、菅谷学委員、臼井範雄委員、深瀬亨委員、保土田玲子委員（◎は会長）

欠席者：米山祐司委員、中村勝信委員

※さがみ信用金庫の人事異動に伴い、中村委員から深瀬委員へ交代。

事務局：湯川博之参事兼企画財政課長、原雅紀副課長、岸春希主事、宮本史人（ランドブレイン株式会社）、大森勇輝（ランドブレイン株式会社）

1. 開会

- ・ 第1回欠席の中條委員、保土田委員、今回より委員となった深瀬委員に委嘱状を交付した。

2. 議題

(1) まちづくり会議結果について

- ・ ランドブレイン株式会社より、まちづくり会議結果について説明（資料1）。

【質疑・意見】

委員：会議の目的については、資料を見たところ総合計画策定のための意見聴取よりも、参加者の意見交換及びネットワークづくりの契機とすることが主なのか。

事務局：あくまでも総合計画策定に向け、既に実施済みのアンケート調査に加えて、生の意見を反映し、将来像を設定するために実施している。

委員：自分たちにできることと町に実施してほしいことで分けて検討しているが、何か仕掛けがないとなかなか自分たちで実行することが難しく、協働の成果があがらないと思われる。そのため、協働という大きな観点から見た施策を検討していただきたい。

事務局：会議の中で自分たちにできることと町に実施してほしいこととして棲み分けで意見を伺ったが、この2つの差をいかに埋めるかが行政の役割である。協働という点で、町には自治基本条例があり、行政、町民、議会がそれぞれの立場でそれぞ

れの力を結集した上で施策を実施するものと理解しており、基本的な視点として協働があることをご理解いただきたい。

委員：まちづくり会議というものはとても良いものであると考えているが、会議の参加者に公募の町民が一人しかいないのは残念である。会議開催前に勉強会があると、より多くの町民の応募につながるのではないか。

事務局：一般公募は2名おり、1名は高校生であり平日の参加が難しいとのことで、別日に若者ワークショップを実施し、意見を伺った。また、事前の勉強会の案については、大変参考になるご意見である。今後このようなワークショップを実施する前には、まずは町に関心を持っていただくところからスタートするという視点を踏まえ検討したい。

委員：資料の中に「自分の足は自分で確保」という意見があるがどのようなことか。

事務局：参加者の意見であるため、真意は判断しかねるが、自分たちでも交通手段を確保していこうというニュアンスであると推測している。

委員：大井町では空家税を徴収しているのか。

事務局：大井町では現状、空家税というものは徴収していない。大井町の空家は、持ち主が物を置いていて倉庫のような形で使われているケースが多い。空家については今後10年の課題となると考えており、今年度に空家実態調査も実施したところである。

委員：ワークショップの意見の「通学費補助」、「通勤補助」についてどのような議論であったか。

事務局：住民の意見であるため詳細についてはわかりかねるが、大井町でも過去に相和地域での中学生の遠距離通学の補助を行っており、近隣市町においても小田原市では通勤のための補助を行っていたこともある。住んでいる場所によってもそれぞれ負担が変わるため、町民からの一意見として、施策検討のうえで参考とさせていただきたいと考えている。

委員：先ほど話題に挙がったが、協働はキーワードであると考えている。過去にゆめの里育て隊や体験観光協会の話伺ったことがあるが、ボランティアや体験観光はまさに協働や自発的な取組の理想的な形だと考える。ワークショップについて、自分たちでできることと、町に実施してもらいたいことを分けて考えてもらったことは良いと考えているが、熱意のある方とそうでない方、また地域によっても自発的な取組にバラつきが出てしまうことも考えられるため、いかに熱意をもって参加してもらうかの仕組みづくりやプラットフォームづくり、協働や相互扶助の促進をしていくかについて考えることが良いと思う。協働のまちづくりに向けて、現時点で検討している仕組みづくりや取組等はあるか。

事務局：協働の仕組みづくりにおいて、明確なものとしては現状表に出てこない部分があ

るが、町長の協働のまちづくりというスローガンを掲げてまちづくりを進めている。町民の協力がなければ町は成り立たないという中で、一つには、町民組織である自治会がベースになると考えており、これまでに自治会担当職員を設置している。また、大井町のひょうたん祭における協働の取組として、町が実行委員会を立てて取り組む中で、出演者の方々にも参加していただいている。また若者の意見も取り入れていくという考えのもと、これまでにはない視点で祭をつくるプロジェクトチームが発足している。さらに、先ほど委員からもお話いただいたが、ゆめの里育て隊や体験観光協会について、グリーンツーリズムの取組や子ども体験プロジェクトなどを通して多くの人に協力・参加いただき、様々な協働の取組を経て体験観光協会ができた。そのため、協会ができたこと自体が、協働の取組の成果であると考えている。今回いただいた意見をもとに、まだまだこれから協働のプロジェクトを仕掛けていかなければならないと考えている。

委員：地域学校協働活動がスタートしていろいろな取組があるが、地域の住民から学校の姿が見えていないというのを感じる。これまでは学校だよりや幼稚園だよりで周知していたが、昨今は個人情報観点から無くなっている。地域から学校の姿が見えない中で地域学校協働活動を進めようとしても限界があると感じる。個人情報等の点で様々なことが難しくなっている現状は理解しているが、このような中で、壁を取り払って協働活動を進めていきたい。

(2) 二十歳アンケート調査結果について

- ・ 事務局より、二十歳アンケートについて説明（資料2）。

【質疑・意見】

委員：問5のような聞き方をすると若い人にとっては答え方が難しく、参考にしにくいと感じた。問6の方が参考にできると考える。

(3) 第6次総合計画前期基本計画の総括について

- ・ 事務局より、第6次総合計画前期基本計画の主な成果等（資料3-1）、施策点検に関して（資料3-2、資料3-3、資料3参考）説明。

【質疑・意見】

委員：資料3-2の水路の整備については、道路・水路として統合されるとのことであるが、先日発生した道路の空洞化の問題もある中で、統合によって水路の事業が隠れてしまうのではないかという懸念がある。統合するにあたりもう少し詳しい説明をいただきたい。

事務局：町としても水路は大切であると認識している。先ほど委員からのご意見の中で空洞化の話があったが、大井町で空洞化が見られたということで、緊急対応を行って対策を講じたところである。大井町の水路は、昨今の道路の改良事業や維持補

修の中で対応しているということもあり、原課では水路のみに特化するのではなく、道水路として維持管理を行っていくという意向で統合としている。ただ、今回たまたまこのような事案が発生したこともあるため、原課に再度検討を促し、調整していきたい。

委員：水路に関連して、新規就農者だけでなく既存の農業者に対しての支援も重要であるとする。農業の振興にとっても水路は重要であるため、申し添える。

委員：農業委員会において新規就農者、既存農業者ともに指導を行っているところである。

委員：水路については施策がなくなるということか。

事務局：廃止ではなく、あくまでも道路と水路を一元化で考えるということである。

委員：後期基本計画に向けて新規の施策は考えているか。

事務局：既存の施策の確認を行ったうえで、これからの施策を考えるという動きをしている。これまでの取組を鑑みながら、新たなニーズも踏まえて検討をしていく。

委員：「町長とのふれあいミーティング」について、これまでは事務局と参加者と相対するような実施のされ方であったが、開催方法含め改善をしていただきたい。また、高齢者のスキル活用や、人材不足、デジタル化、ジビエ処理施設の活用などについても検討をしていただきたい。

事務局：個別具体的な対応についてはそれぞれのところとなるが、ご意見として頂戴した。

委員：資料3-3の補助金公募制度及びスタートアップ助成事業の推進とあり、とても良い取組であると思うが、現状ではどのようなものが誕生しているか。

事務局：町民の福祉向上に必要な組織について支援をするものであり、飲食や人件費にあたらぬ部分について支援をしている。スタートアップの件数が減っているのは、町にとっても重要な取組として、各課の補助事業に溶け込み、政策として取り組まれるようになったものが多いためである。ただ、昨今スタートアップに手を挙げる団体が少なくなってしまうことは事実であるため、さらなる周知を図り取り組んでいきたい。また、営利団体でなく、非営利団体への支援をしている。

委員：非営利団体への支援ということで承知した。

(4) その他

- ・事務局より、令和7年度総合計画審議会の開催スケジュールについて説明（資料4）。

【質疑・意見】

なし

3. 閉会

- ・第3回の審議会については令和7年6月から7月頃の実施を予定している。

- ・ 委員に交代があった場合は、後任へ引き継いでいただき、事務局まで連絡していただきたい。